植村 理奈 ボツワナ

(環境教育・2018年度2次隊・東京都練馬区)



[ボツワナ共和国]





ボツワナ共和国の概要

1. 面 積:60万0370平方キロメートル(日本の1.5倍)

2. 人 口:約200万人(2011年)

3. 首 都:ハボロネ

4. 民 族: ツワナ族(79%), カランガ族(11%), バサルワ族(3%)等

5. 言 語: 英語、ツワナ語 6. 宗 教: 伝統信仰、キリスト教

[お気に入りのグルメ(食)] [Dijo(ディジョ)ツワナ語]



「セスワ」

牛肉をほどけるま で煮込んだ料理が 大好き。

【昼ご飯の屋台】

ほぼ毎日屋台のご飯を食 べていました。主食1種類、 副菜2種類、お肉1種類が 選べて150円。





【屋外でご飯といえばBBQ!】

南アフリカの言葉でBraai(ブライ) みんな大好きブライ! 肉の用意する量も半端ない。肉はたいてい骨付き。

[私の任地]

1. 任地の名前: ノースウェスト県マウン

2. 首都からのアクセス:長距離バスで約12時間、飛行機で約1.5時間

3. 街の様子 : 北部の小さい町ですが、世界自然遺産にも登録されている世界最大級の湿地帯「オカバンゴデルタ」の玄関先で

もあり、年間を通じ多くの観光客が訪れます。



任地マウンのショッピングモールが並ぶ中心地です。ボツワナは意外にも車社会で、女性も皆運転できます。

[活動内容]

小学校での環境教育



マウンにあるノースウェスト県庁公衆衛生部に配属され、埋立地 やごみ収集システムの改善、分別の試験的導入、小学校での環境教育を行っていました。

ワークショップは**とても**刺激的で大好評でした!



他の任地で活動していた小学校教育隊員の協力の元、ボッワナの 環境教育および廃棄物処理隊員が集合し、小学校で環境教育のワー クショップを行いました。

ごみが分解されるのは何年かかるのか子ども達に考えてもらい、 なぜポイ捨てはいけないのか、自分たちの生活とごみとの関係を身 近に捉えてもらったり、ペットボトルとアイロン、マニキュア、カ ラーペンを使用し腕輪を作りました。

リサイクル(再利用)について実際に楽しみながら学んでもらう ワークショップになりました。ボツワナでは、現地の子供たちが自 分で考えたり、はさみ、マジック、いろんな道具を学校で使うこと も普段しない環境です。用意したワークショップはとても刺激的で 大好評でした!